

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2022年2月23日まで（2012年2月17日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。</li> <li>・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底的なボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析します。</li> <li>・モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図の権限を委託します。</li> <li>・外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul>	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。</li> <li>・株式への実質投資割合は、制限を設けません。</li> <li>・同一銘柄の株式への実質投資割合は、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。</li> </ul>
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合は、制限を設けません。</li> <li>・同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。</li> </ul>
分配方針	毎年2月23日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

モルガン・スタンレー グローバル・  
プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）

第6期（決算日：2018年2月23日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）」は、去る2月23日に第6期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## ■ ファンドマネージャーのコメント

### ◆ 当期の運用で主眼を置いたポイント

- ・生活必需品セクターに関して：常にポートフォリオの中核を占めているものの、より細かく見ると、足下では食品よりは美容・パーソナル用品・蒸留酒・タバコが魅力的であると考えられる中、経営陣の能力なども勘案して保有銘柄のウェイトを調整しました。生活必需品セクター内の優劣の一因となっているのがAMAZON.COM INCによる影響の拡大で、特に悪影響を受けると予想される米国内の食品会社に関しては、当運用では保有を避けています。
- ・情報技術セクターに関して：組入比率を増やしてきており、現在ではポートフォリオの30%近くを占めるに至っています。当セクターの中でも、ハードウェアよりもソフトウェアやITサービスの分野に高くオリアリティの企業が多く存在すると考え、当運用でも保有・買い増しています。ハードウェアは相対的に景気感受性が高く、売上に対する設備投資額の割合はるかに高いとともに、常にコモディティ化（一般化して差別性が低下する事）の脅威に晒されているからです。
- ・たばこ業種に関して：生活必需品セクターに属する当業種は、一部銘柄が米国の監督行政機関によるたばこ規制コメントを嫌気して2017年7月末に急落しました。しかしながら当運用で保有するたばこ株（3銘柄）は、ESG（環境・社会・ガバナンス）の観点からも米国たばこ規制案に対しても、たばこ株としては高く評価されると考え、BRITISH AMERICAN TOBACCO PLCに関しては株価が急落した局面で積極的に買い増しました。なお、急落した2銘柄（BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC、ALTRIA GROUP INC）とも12月には急落前の水準（円ベース）を回復しました。

### ◆ 今後の見通し

- ・2018年2月初頭の株式市場急落によって変動性が高まったものの、今後の更なる急激な変動の可能性は、この急落によって抑制されると期待しています。2018年1月まで続いたユーフォリア（多幸福感）が再び起こる可能性は低いと考えており、今後は成長期待の強気派と、金利上昇による成長鈍化や北朝鮮を巡る地政学リスクやイタリア発のユーロ危機再燃などを懸念する弱気派との綱引きが続くと想定されます。

### ◆ 運用方針

- ・当運用が保有する銘柄である「プレミアム企業」は、すなわちどのような景気局面でも安定して複利のように利益を増幅させることができ、潜在的な脅威に対しても高い抵抗力を持つと考えます。投資家が株式投資全般から逃避する際には株式市場全体として株価が下落しますが、「プレミアム企業」であればEPS（1株あたり利益）の上昇で株価は回復すると考えます。
- ・株式市場の見通しが不透明な状況では、高い価格決定力と低い投下資本で株主利益を長期的に増大させることができる、非常に質が高い企業を保有する当運用の投資方針が有効であると考えています。引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心にポートフォリオを構築する方針です。
- ・足下は、「たばこ」「メディア」「ソフトウェア」などの「プレミアム企業」に注目しています。



上記は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド  
 インターナショナル・エクイティ運用チーム  
 運用責任者  
 ウィリアム・ロック

ファンド・マネージャー  
 ブルーノ・ポールソン

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			米ドル為替		（参考指数） MSCI ワールド・インデックス （税引き後配当込み米ドル建て）		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率					
	円	円	%	円	%		%	%	%	百万円
2期(2014年2月24日)	14,842	500	22.0	102.59	9.0	13,546	20.8	96.0	—	6,484
3期(2015年2月23日)	18,030	500	24.8	119.08	16.1	14,711	8.6	96.4	—	5,996
4期(2016年2月23日)	16,761	400	△ 4.8	112.67	△ 5.4	13,217	△ 10.2	96.9	—	7,051
5期(2017年2月23日)	18,683	400	13.9	113.37	0.6	15,948	20.7	97.0	—	8,408
6期(2018年2月23日)	19,955	400	8.9	107.01	△ 5.6	18,676	17.1	95.7	—	19,749

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）（出所：MSCI）の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		米 ド ル 為 替		( 参 考 指 数 ) MSCI ワールド・インデックス (税引き後配当込み米ドル建て)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首)	円	%	円	%		%	%	%
2017年2月23日	18,683	—	113.37	—	15,948	—	97.0	—
2月末	18,673	△ 0.1	112.56	△0.7	15,949	0.0	96.8	—
3月末	19,010	1.8	112.19	△1.0	16,147	1.2	96.6	—
4月末	19,239	3.0	111.29	△1.8	16,356	2.6	97.8	—
5月末	19,940	6.7	110.96	△2.1	16,660	4.5	96.4	—
6月末	19,907	6.6	112.00	△1.2	16,769	5.2	97.2	—
7月末	19,922	6.6	110.35	△2.7	17,136	7.5	95.5	—
8月末	19,653	5.2	110.42	△2.6	17,060	7.0	97.1	—
9月末	20,065	7.4	112.73	△0.6	17,480	9.6	97.4	—
10月末	20,728	10.9	113.16	△0.2	17,864	12.0	96.1	—
11月末	20,971	12.2	112.05	△1.2	18,170	13.9	97.1	—
12月末	21,648	15.9	113.00	△0.3	18,548	16.3	98.0	—
2018年1月末	21,658	15.9	108.79	△4.0	19,504	22.3	88.8	—
(期 末)								
2018年2月23日	20,355	8.9	107.01	△5.6	18,676	17.1	95.7	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## 運用経過

### 当期中の基準価額等の推移について

（第6期：2017/2/24～2018/2/23）

#### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ8.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



第6期首：18,683円  
 第6期末：19,955円  
 （既払分配金 400円）  
 騰落率：8.9%  
 （分配金再投資ベース）

・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

ZOETIS INC（米国）やMOODY'S CORP（米国）の株価が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

## 投資環境について

（第6期：2017/2/24～2018/2/23）

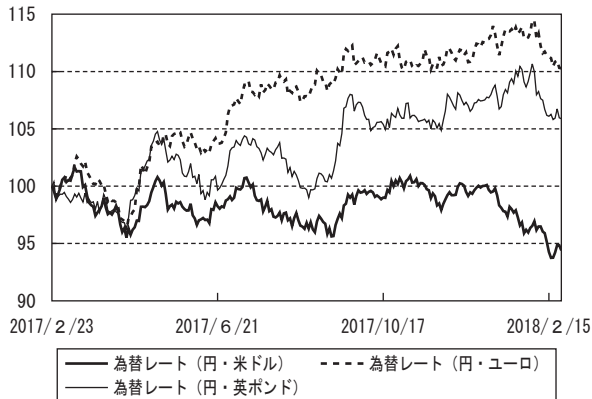
### 参考指数の推移 （期首を100として指数化）



#### ◎株式市況

・先進国株式市場は上昇しました。期初から2018年1月末にかけては、米国景気の底堅さとトランプ米大統領が掲げる税制改革をはじめとする景気刺激策に加え、各国の良好な経済指標や企業決算などを背景とした世界景気の拡大期待から上昇しました。2月には、米長期金利が急上昇したことなどから世界的にリスクオフの動きとなり大きく下落する局面があったものの、期を通してみると上昇しました。業種別では、情報技術など幅広いセクターで上昇しました。

### 為替市況の推移 （期首を100として指数化）



#### ◎為替市況

・当ファンドの投資先通貨は、米ドルは対円で下落したものの、ユーロや英ポンドなどは金融緩和縮小の観測などを背景に対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

**i** 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

### ＜モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）＞

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。実質外貨建資産について、為替ヘッジを行いませんでした。

### ＜モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド＞

基準価額は、期首に比べ11.1%の上昇となりました。

- ・当期は、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。
- ・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

#### ◎主な新規組入銘柄

- ・DANAHER CORP（米国）：ライフサイエンスや臨床検査器具関連の事業を手がけるヘルスケア企業。企業の独立性を維持しつつ、効果的な買収などを実施し高収益を維持しており、株主である創業者をはじめとする他の経営陣の安定性と手腕を評価し、新たに組み入れました。
- ・FIDELITY NATIONAL INFO SERV（米国）：各種業務代行やソフトウェアの提供などを通じて金融機関をはじめ金融サービスのサポートを実施するサービス・プロバイダー。高い投下資本利益率、寡占市場で同業間の競争が緩いことや、安定した顧客基盤による継続的な利益などを評価し、新たに組み入れました。

#### ◎主な売却銘柄

- ・NESTLE SA-REG（スイス）：成長性の低下やイノベーションの不透明感の高まりなどが懸念されたため、全株売却しました。
- ・TIME WARNER INC（米国）：買収提案を受けて株価が上昇したことにより割安感が低下したと判断し、全株売却しました。

以上の投資判断の結果、パフォーマンスに影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

- ・ ZOETIS INC（米国）：市場予想を上回る決算発表や業績見通しなどが好感され、株価が上昇しました。
- ・ MOODY'S CORP（米国）：市場予想を上回る決算発表などが好感され、株価が上昇しました。

当期は、主に組入銘柄の株価上昇により基準価額は上昇しました。

（ご参考）

### 業種別比率

期首（2017年2月23日）

	業種	比率
1	生活必需品	52.3%
2	情報技術	23.4%
3	一般消費財・サービス	13.5%
4	資本財・サービス	4.1%
5	素材	1.8%
6	ヘルスケア	1.4%
7	金融	1.0%

期末（2018年2月23日）

	業種	比率
1	生活必需品	41.8%
2	情報技術	30.3%
3	一般消費財・サービス	9.1%
4	ヘルスケア	7.1%
5	資本財・サービス	5.7%
6	金融	2.7%
7	素材	0.8%

・ 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

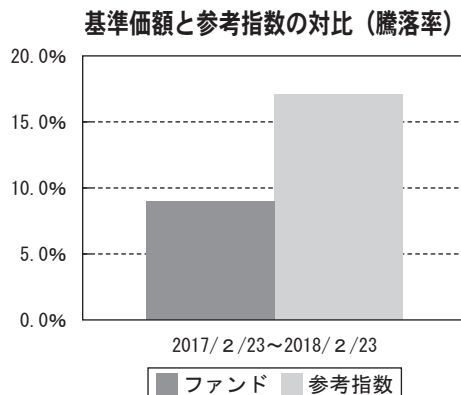
・ 業種はG I C S（世界産業分類基準）のセクター分類に基づいております。Global Industry Classification Standard（“G I C S”）は、MSCI Inc.とS&P（Standard & Poor's）が開発した業種分類です。G I C Sに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。



## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

**i** ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数は、MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）です。
- ・参考指数は、米ドル建てであり、為替を考慮していない点にご留意ください。



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算していません。

## 分配金について

**i** 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第6期
	2017年2月24日～2018年2月23日
当期分配金	400
（対基準価額比率）	1.965%
当期の収益	—
当期の収益以外	400
翌期繰越分配対象額	9,955

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### <モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）>

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。実質外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

### <モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・2018年2月初頭の株式市場急落によって変動性が高まったものの、今後の更なる急激な変動の可能性は、この急落によって抑制されると期待しています。2018年1月まで続いたユーフォリア（多幸感）が再び起こる可能性は低く、今後は成長期待の強気派と、金利上昇による成長鈍化や北朝鮮を巡る地政学リスクやイタリア発のユーロ危機再燃不安などを懸念する弱気派との綱引きが続くと想定されます。

#### ◎今後の運用方針

- ・当運用が保有する銘柄である「プレミアム企業」は、すなわちどのような景気局面でも安定して複利のように利益を増幅させることができ、潜在的な脅威に対しても高い抵抗力を持つと考えます。投資家が株式投資全般から逃避する際には株式市場全体として株価が下落しますが、「プレミアム企業」であればEPS（1株あたり利益）の上昇で株価は回復すると考えます。
- ・株式市場の見通しが不透明な状況では、高い価格決定力と低い投下資本で株主利益を長期的に増大させることができる、非常に質の高い企業を保有する当運用の投資方針が有効であると考えています。引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心にポートフォリオを構築する方針です。
- ・足下は、「たばこ」「メディア」「ソフトウェア」などの「プレミアム企業」に注目しています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年2月24日～2018年2月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	398	1.979	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(232)	(1.155)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(155)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 11)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	8	0.040	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 8)	(0.040)	有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	34	0.167	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 34)	(0.167)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	8	0.040	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 6)	(0.029)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	( 2)	(0.011)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	448	2.226	
期中の平均基準価額は、20,117円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年2月24日～2018年2月23日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
モルガン・スタンレー グローバル・ プレミアム株式オープン マザーファンド	4,796,567	13,153,739	1,001,062	2,594,404

○株式売買比率

(2017年2月24日～2018年2月23日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	33,997,949千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	24,441,321千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.39	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年2月24日～2018年2月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年2月23日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	3,502,121	7,297,626	19,376,656

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年2月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	19,376,656 千円	95.6 %
コール・ローン等、その他	888,347	4.4
投資信託財産総額	20,265,003	100.0

(注) モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（39,076,131千円）の投資信託財産総額（39,444,839千円）に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.01円	1 ユーロ=131.87円	1 イギリスポンド=149.38円	1 スイスフラン=114.66円
1 スウェーデンクローネ=13.16円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年2月23日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	20,265,003,421
コール・ローン等	888,346,800
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド(信託)	19,376,656,621
(B) 負債	515,283,239
未払収益分配金	395,879,465
未払解約金	1,011,867
未払信託報酬	117,736,292
未払利息	1,581
その他未払費用	654,034
(C) 純資産総額(A－B)	19,749,720,182
元本	9,896,986,643
次期繰越損益金	9,852,733,539
(D) 受益権総口数	9,896,986,643口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,955円

<注記事項>

- ①期首元本額 4,500,592,233円  
 期中追加設定元本額 8,037,527,860円  
 期中一部解約元本額 2,641,133,450円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.9955円です。

②分配金の計算過程

項 目	2017年2月24日～ 2018年2月23日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	9,957,121,232円
分配準備積立金額	291,491,772円
当ファンドの分配対象収益額	10,248,613,004円
1万口当たり収益分配対象額	10,355円
1万口当たり分配金額	400円
収益分配金金額	395,879,465円

③「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し、次に定める率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

20億円以下の部分に対して	年1万分の80
20億円超40億円以下の部分に対して	年1万分の75
40億円超80億円以下の部分に対して	年1万分の70
80億円超の部分に対して	年1万分の65

○損益の状況（2017年2月24日～2018年2月23日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 96,957
支払利息	△ 96,957
(B) 有価証券売買損益	141,869,055
売買益	452,552,463
売買損	△ 310,683,408
(C) 信託報酬等	△ 207,759,883
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 65,987,785
(E) 前期繰越損益金	291,491,772
(F) 追加信託差損益金	10,023,109,017
(配当等相当額)	( 3,947,282,861)
(売買損益相当額)	( 6,075,826,156)
(G) 計(D+E+F)	10,248,613,004
(H) 収益分配金	△ 395,879,465
次期繰越損益金(G+H)	9,852,733,539
追加信託差損益金	9,918,200,959
(配当等相当額)	( 3,857,808,158)
(売買損益相当額)	( 6,060,392,801)
分配準備積立金	520,365
繰越損益金	△ 65,987,785

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金（税込み）	400円
-----------------	------

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2018年2月23日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

### 【お 知 ら せ】

①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。

（変更前（旧）<http://www.am.mufg.jp/> → 変更後（新）<https://www.am.mufg.jp/>）

（2018年1月1日）

②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

# モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

## 《第12期》決算日2018年2月23日

[計算期間：2017年8月24日～2018年2月23日]

「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」は、  
2月23日に第12期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信託財産の成長を目指して運用を行います。</li> <li>・運用指図委託契約に基づき、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。</li> </ul>
主要運用対象	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合は、制限を設けません。</li> <li>・同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。</li> </ul>

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		米ドル為替		(参考指数) MSCI ワールド・インデックス(税引き後 配当込み米ドル建て)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率					
	円	%	円	%		%	%	%	百万円
8期(2016年2月23日)	20,559	△ 3.9	112.67	△ 7.4	13,217	△ 4.9	97.4	—	8,553
9期(2016年8月23日)	20,235	△ 1.6	100.16	△ 11.1	14,881	12.6	97.7	—	13,310
10期(2017年2月23日)	23,894	18.1	113.37	13.2	15,948	7.2	97.5	—	18,520
11期(2017年8月23日)	25,194	5.4	109.74	△ 3.2	17,032	6.8	97.7	—	25,353
12期(2018年2月23日)	26,552	5.4	107.01	△ 2.5	18,676	9.7	97.5	—	39,444

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て)(出所: MSCI)の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所: MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。



## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		米 ド ル 為 替		( 参 考 指 数 ) MSCI ワールド・ インデックス (税引き後 配当込み米ドル建て)	株 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰 落 率	円	騰 落 率			
(期 首) 2017年8月23日	25,194	—	109.74	—	17,032	—	97.7
8 月 末	25,397	0.8	110.42	0.6	17,060	0.2	97.6
9 月 末	25,974	3.1	112.73	2.7	17,480	2.6	98.1
10 月 末	26,882	6.7	113.16	3.1	17,864	4.9	97.6
11 月 末	27,247	8.1	112.05	2.1	18,170	6.7	97.7
12 月 末	28,173	11.8	113.00	3.0	18,548	8.9	98.7
2018年1月末	28,247	12.1	108.79	△0.9	19,504	14.5	93.7
(期 末) 2018年2月23日	26,552	5.4	107.01	△2.5	18,676	9.7	97.5

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### ●当期中の基準価額等の推移について

#### ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ5.4%の上昇となりました。

基準価額等の推移



## ●投資環境について

### ◎株式市況

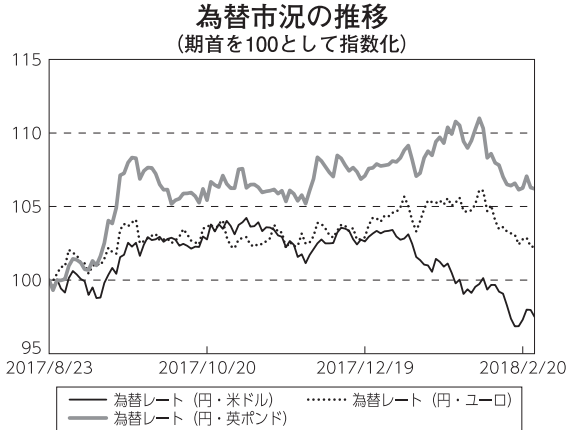
参考指数の推移  
(期首を100として指数化)



- 先進国株式市場は上昇しました。期初から2018年1月末にかけては、米国景気の底堅さとトランプ米大統領が掲げる税制改革をはじめとする景気刺激策に加え、各国の良好な経済指標や企業決算などを背景とした世界景気への拡大期待から上昇しました。2018年2月には、米長期金

利が急上昇したことなどから世界的にリスクオフの動きとなり大きく下落する局面があったものの、期を通してみると上昇しました。業種別では、情報技術のほか、一般消費財・サービスや素材などの景気敏感セクターが上昇しました。

◎為替市況



- 当ファンドの投資先通貨は、米ドルは対円で下落したものの、ユーロや英ポンドなどは金融緩和縮小の観測などを背景に対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- 当期は、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、概ね高位を保ちました。
- 銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

◎主な新規組入銘柄

- DANAHER CORP (米国)：ライフサイエンスや臨床検査器具関連の事業を手がけるヘルスケア企業。企業の独立性を維持しつつ、効果的な買収などを実施し高収益を維持しており、株主である創業者をはじめとする他の経営陣の安定性と手腕を評価し、新たに組み入れました。
- FIDELITY NATIONAL INFO SERV (米国)：各種業務代行やソフトウェアの提供などを通じて金融機関をはじめ金融サービスのサポートを実施するサービス・プロバイダー。高い投下資本利益率、寡占市場で同業間の競争が緩いことや、安定した顧客基盤による継続的な利益などを評価し、新たに組み入れました。

◎主な売却銘柄

- NESTLE SA-REG (スイス)：成長性の低下やイノベーションの不透明感の高まりなどが懸念されたため、全株売却しました。
- TIME WARNER INC (米国)：買収提案を受けて株価が上昇したことにより割安感が低下したと判断し、全株売却しました。

以上の投資判断の結果、パフォーマンスに影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

(プラス要因)

- TWENTY-FIRST CENTURY FOX-A (米国)：市場予想を上回る決算発表に加えて、ウォルト・ディズニーによる一部事業の買収などが好感され、株価が上昇しました。
- ZOETIS INC (米国)：市場予想を上回る決算発表や業績見通しなどが好感され、株価が上昇しました。

当期は、主に組入銘柄の上昇により基準価額は上昇しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・2018年2月初頭の株式市場急落によって変動性が高まったものの、今後の更なる急激な変動の可能性は、この急落によって抑制されると期待しています。2018年1月まで続いたユーフォリア（多幸感）が再び起こる可能性は低く、今後は成長期待の強気派と、金利上昇による成長鈍化や北朝鮮を巡る地政学リスクやイタリア発のユーロ危機再燃不安などを懸念する弱気派との綱引きが続くと想定されます。

◎今後の運用方針

- ・当運用が保有する銘柄である「プレミアム企業」は、すなわちどのような景気局面でも安定して複利のように利益を増幅させることができ、潜在的な脅威に対しても高い抵抗力を持つと考えます。投資家が株式投資全般から逃避する際には株式市場全体として株価が下落しますが、「プレミアム企業」であればEPS（1株あたり利益）の上昇で株価は回復すると考えます。
- ・株式市場の見通しが不透明な状況では、高い価格決定力と低い投下資本で株主利益を長期的に増大させることができる、非常に質が高い企業を保有する当運用の投資方針が有効であると考えています。引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心にポートフォリオを構築する方針です。
- ・足下は、「たばこ」「メディア」「ソフトウェア」などの「プレミアム企業」に注目しています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年8月24日～2018年2月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 4 ( 4 )	% 0.013 (0.013)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	24 (24)	0.090 (0.090)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	4 ( 3 ) ( 0 )	0.013 (0.013) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	32	0.116	
期中の平均基準価額は、26,986円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年8月24日～2018年2月23日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 9,831	千アメリカドル 85,063	百株 2,974	千アメリカドル 21,296
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	610	5,510	119	1,134
	イタリア	2,988	1,894	261	163
	フランス	581	8,758	121	2,001
	オランダ	1,450	7,665	80	149
	イギリス	8,548	千イギリスポンド 31,143	1,574	千イギリスポンド 6,429
	スイス	27	千スイスフラン 228	326	千スイスフラン 2,701

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2017年8月24日～2018年2月23日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	21,321,489千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	27,717,771千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.76

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2017年8月24日～2018年2月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年2月23日現在)

外国株式

銘柄	株数	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株数	株数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
AUTOMATIC DATA PROCESSING	498	744	8,597	920,026		ソフトウェア・サービス
ACCENTURE PLC-CL A	1,258	1,736	27,833	2,978,425		ソフトウェア・サービス
COCA-COLA CO/THE	1,594	2,382	10,368	1,109,510		食品・飲料・タバコ
DANAHER CORP	—	996	9,703	1,038,327		ヘルスケア機器・サービス
WALT DISNEY CO/THE	886	397	4,185	447,867		メディア
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	—	247	4,986	533,588		各種金融
INTL FLAVORS & FRAGRANCES	137	206	2,944	315,106		素材
MOODY'S CORP	194	290	4,854	519,528		各種金融
TWENTY-FIRST CENTURY FOX-A	2,031	1,940	7,210	771,646		メディア
TWENTY-FIRST CENTURY FOX - B	1,661	2,468	9,067	970,344		メディア
ALTRIA GROUP INC	1,376	1,372	8,693	930,268		食品・飲料・タバコ
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	—	778	7,630	816,514		ソフトウェア・サービス
NIKE INC -CL B	1,293	1,944	13,055	1,397,041		耐久消費財・アパレル
MICROSOFT CORP	2,258	3,127	28,689	3,070,070		ソフトウェア・サービス
INTUIT INC	240	362	6,235	667,300		ソフトウェア・サービス
TIME WARNER INC	117	—	—	—		メディア
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	955	1,414	14,565	1,558,642		食品・飲料・タバコ
VISA INC-CLASS A SHARES	1,069	1,457	17,543	1,877,325		ソフトウェア・サービス
ZOETIS INC	1,391	2,060	16,640	1,780,684		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BRITISH AMERICAN TOB-SP ADR	779	672	4,063	434,865		食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額	17,744	24,601	206,869	22,137,085	
	銘柄数<比率>	17	19	—	<56.1%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
SAP SE	970	1,462	12,359	1,629,911		ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額	970	1,462	12,359	1,629,911	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<4.1%>	
(ユーロ…イタリア)						
DAVIDE CAMPARI-MILANO SPA	5,109	7,836	4,874	642,805		食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額	5,109	7,836	4,874	642,805	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.6%>	
(ユーロ…フランス)						
L'OREAL	536	690	12,113	1,597,396		家庭用品・パーソナル用品
PERNOD RICARD SA	616	923	12,396	1,634,787		食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額	1,153	1,613	24,510	3,232,184	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<8.2%>	
(ユーロ…オランダ)						
HEINEKEN NV	—	710	6,011	792,764		食品・飲料・タバコ
RELX NV	1,334	1,993	3,421	451,172		商業・専門サービス
小 計	株数・金額	1,334	2,704	9,433	1,243,936	
	銘柄数<比率>	1	2	—	<3.2%>	
ユ ー ロ 計	株数・金額	8,568	13,617	51,177	6,748,837	
	銘柄数<比率>	5	6	—	<17.1%>	

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
(イギリス)	百株	百株	千円		
UNILEVER PLC	3,759	4,929	18,430	家庭用品・パーソナル用品	
RELX PLC	2,614	4,362	6,621	商業・専門サービス	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	1,848	2,532	14,864	家庭用品・パーソナル用品	
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	2,077	4,304	18,742	食品・飲料・タバコ	
EXPERIAN PLC	2,384	3,529	5,518	商業・専門サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	12,684 5	19,658 5	64,177 — <24.3%>	
(スイス)			千スイスフラン		
NESTLE SA-REG	299	—	—	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	299 1	— —	— — <—%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	39,296 28	57,878 30	— — 38,472,758 <97.5%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2018年2月23日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 38,472,758	% 97.5
コール・ローン等、その他	972,081	2.5
投資信託財産総額	39,444,839	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (39,076,131千円) の投資信託財産総額 (39,444,839千円) に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=107.01円	1 ユーロ=131.87円	1 イギリスポンド=149.38円	1 スイスフラン=114.66円
1 スウェーデンクローネ=13.16円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年2月23日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	39,444,839,378
コール・ローン等	931,146,076
株式(評価額)	38,472,758,261
未収配当金	40,935,041
(B) 負債	656
未払利息	656
(C) 純資産総額(A-B)	39,444,838,722
元本	14,855,766,846
次期繰越損益金	24,589,071,876
(D) 受益権総口数	14,855,766,846口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,552円

<注記事項>

- ①期首元本額 10,063,165,806円  
 期中追加設定元本額 5,982,722,714円  
 期中一部解約元本額 1,190,121,674円  
 また、1口当たり純資産額は、期末2,6552円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり)	7,558,140,821円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし)	7,297,626,025円
合計	14,855,766,846円

○損益の状況 (2017年8月24日～2018年2月23日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	202,516,783
受取配当金	200,912,569
受取利息	1,697,265
支払利息	△ 93,051
(B) 有価証券売買損益	441,697,113
売買益	2,852,697,365
売買損	△ 2,411,000,252
(C) 保管費用等	△ 3,631,676
(D) 当期損益金(A+B+C)	640,582,220
(E) 前期繰越損益金	15,290,090,696
(F) 追加信託差損益金	10,659,277,286
(G) 解約差損益金	△ 2,000,878,326
(H) 計(D+E+F+G)	24,589,071,876
次期繰越損益金(H)	24,589,071,876

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

[お知らせ]

当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (変更前(旧) <http://www.am.mufg.jp/> → 変更後(新) <https://www.am.mufg.jp/>)  
 (2018年1月1日)